



発行 小川一成
〒302-0125
守谷市高野646
TEL.0297-48-1064

小川一成の県政報告

守谷大好き、自然大好きの小川一成が皆様の声を県政に届けます。

みなさまに当選させていただき、半年。守谷を代表する県議会議員として、皆様とともに一步一步確実に約束したことを、また要望のあったことを実現してまいります。

「通学児童生徒の安全確保に関する調査検討特別委員会」の現地調査を行いました。

6月24日には、つくば市立小野川小学校及び周辺3箇所、桜川市谷貝小学校及び周辺5箇所の現地調査に入り、通学区域の危険箇所十数カ所を調査しました。今回の調査には議員18名と教育庁、警察本部、土木部、生活環境部から20人が参加しそれぞれの立場で危険箇所の分析を行いました。

私、小川一成が委員長としてこの委員会を運営するに当たっての基本方針は、出来るだけ現地を見、危険箇所を肌で感じて、どうする事が最善の策なのか、それが叶わなければ次善の策は何かを提言し実現する事です。



つくば市小野川の現地 1

守谷市内危険箇所も多くみられます。地元のボランティアの方から、通学路の危険箇所について見て欲しいとの連絡を受け、早速現地に行きました。ここは守谷小学校の通学区域で以前から指摘をされていたところです。市道で都市計画道路として拡幅の予定がされているのですが後回しになっている場所です。



つくば市小野川の現地 2

守谷小学校は区域の人口増により児童が急激に増えています。この通学路を使う児童は毎朝100人を越しています。その安全確保にボランティア頼みでは行政が心もとない。何とかしなければならぬ。



守谷市本町

ホールボディカウンター実施開始

実現

「ホールボディカウンタによる内部被曝検査の実施」について、6月17日から県立中央病院にて実施する旨の案内が届きました。この件については3.11以降、茨城県南部の地域がホットスポットと言われるほど放射能濃度の高い地域となっていました。特に守谷市は茨城県で最も放射線濃度の高い地域であり、小さいお子さんのいる家庭では大きな不安を感じていました。

私は昨年12月の茨城県議会議員補選で守谷の皆さんに「ホールボディカウンタの実施」を公約いたしました。当選後、直ぐにこの問題に取り組みました。県の担当課に何度も「県民の不安を取り除くため、早期に内部被曝検査の実施をすべきではないか」と提言しました。

しかし県は「やっても何も出ないのでやる必要を感じていない」と全くやる気がありませんでした。これ以上、担当課と話をしても埒があかないので直接知事と話をして決着をつけました。知事の英断に敬意を表したい。



10秒で測定できるホールボディカウンターが県内に

歩行者用信号機設置

実現

守谷市の市民の声に耳を傾け、安心安全のために実現できたものがあります。松前台3丁目と久保ヶ丘4丁目間のふれあい道路との交差点です。そこに歩行者用信号機が設置されました。

●右折矢印信号の要望

「R294南守谷 西友楽市と常陽BK入口信号」で、右折用の矢印信号の設置要望があります。できるだけ速やかに実施できるよう、茨城県警へ働きかけ、秋までには実現したい。



小川一成のひとりごと

ご近所の底力 通学路の除草

都市軸道路大柏付近の通学道路がとても綺麗に草が刈ってありました。これは地元の自治会、里山の会、守谷あんしんお散歩プロジェクトのメンバー30人程の皆さんが6月2日に一日がかりで除草したものです。本来なら行政がやって当たり前ですが財政難の折、手が行き届かないことを知り皆さんが立ちあがったのです。なかなか出来ないことです。

この件については2月頃に地元の熱心なボランティアの方から相談を受け、一緒に草刈りをする事にしていましたが、私は青年海外協力隊の総会と重なり出られませんでした。次回は私も参加したいと思います。

私が現地を見に行った時は丁度、小学生と中学生が下校の時でした。

綺麗になった通学路を安心して楽しみに帰って行くところでした。ありがとうございます。



6月定例議会が終わって思うこと。

今回の定例議会は、橋本昌知事の任期中最後の議会ということで、大変重みのある議会と私はとらえていた。なぜならば、5期20年の最後の定例会(9月に改選を迎える)だからだ。

それなのに一般質問の中で、最大会派の自民党が知事の5期20年の県政運営について何も聞かないと言うのはあってはならない事である。極めて残念だ。知事が5期20年の間に目指していた県政とは何か?何が出来て、何が出来なかったのかを、質問すべきだったのではないかと。

今定例会が橋本知事5期目の最後の議会になるわけだから、しっかりと知事の20年に渡る総括をするべきである。



小川一成の県議会報告

平成25年第2回茨城県議会定例会が6月5日から6月18日に開催。

「J-PARC」の放射性物質の漏えい事故についてただす

私、小川一成が所属する防災環境商工委員会は「J-PARC」の放射性物質の漏えい事故について総務委員会と合同の連合委員会を開きました。委員会には日本原子力研究開発機構 東海研究開発センターから3名、J-PARCセンターから2名それぞれ所長、センター長を参考人として呼び質疑を行いました。

私は今回の事故に関して特に県及び関係自治体への通報の遅れについて組織の側に慢心があったのではないかと

更に起こしてはならない事故であり、起きてしまったからの対応の悪さが県民との信頼関係を大きく損なってしまった事を厳しく指摘し、再発防止に向けて事故の原因究明と安全管理体制の再検討を厳しく求めました。



委員長として出来る事は全てやる!

6月14日、「通学児童生徒の安全確保に関する調査特別委員会」を委員長として召集しました。

教育庁、土木部、総務部、生活環境部、警察本部に出席を求め安全確保の基本方向について説明を受けました。

その後各委員から質疑や提言があり、活発な議論が交わされました。



委員長の私としては児童生徒の安全確保のために、出来る事はすべてやる。その覚悟で委員会に臨みました。

出来るだけスピード感を持って対処し、来年度の予算に反映させたいと思います。



もりやアヤマ祭り(6月2日~9日)

商工会青年部、女性部が出店をして、お祭りを盛り上げました。

●女性部は鶏の唐揚げと飲み物の販売でしたが、お天気も良く暑かったので午前中に予定を売り尽くしていました。



●青年部の「守谷将門がぶりメンチ」は手に入れるのが難しく、もう幻のがぶりメンチになっています。今回も長蛇の列でお客様に迷惑をかけていました。うれしい悲鳴です。

我が家のフクロウの巣立ち



我が家のフクロウが巣立ちました。毎年6月に巣立っていきます。その日の朝、一羽がすぐ目の前の枝に巣箱から移り、二番目が巣箱の中から今にも飛び出しそうに外の様子を見やっていた。

程なくして二番目も前の枝に移って巣立ちが完了。一日中二羽のフクロウは目と鼻の先で私達を楽しませてくれました。

茨城県議会議員 小川一成

〒302-0125 守谷市高野646

TEL.0297-48-1064

E-mail issei@alpha.ocn.ne.jp

小川一成

検索

「小川一成のブログ」も見て下さいね!



配信中

趣味の養蜂

守谷市国際交流協会 モンゴル国大使講演会



左端がモンゴル大使

6月29日、守谷市国際交流協会主催の「モンゴル国大使講演会」が行われました。フレルバータル駐日モンゴル国特命全権大使を招いての講演会。大使の話はとて聞きやすく言葉の端々に、モンゴルは国をあげて親日的である事が伝わってきました。

モンゴルは古くて新しい国。歴史の中で世界史上、類を見ない程のモンゴル大帝国を築きましたが、その後分裂して一度は歴史から消えてしまいました。23年前ソ連崩壊を機に民主主義国家として再スタートをしました。講演のあとはモンゴル産の岩塩が入ったミルクティーをいただきながら交流を深めました。モンゴル民話「スーホの白い馬」を思い出します。



馬頭琴の演奏

「守谷みつばち夢プロジェクト」この指と〜まれ!

いばキラTVの「スッポン大学茨城三国志」が水戸から守谷に取材に来ました。

丁度、採蜜をする時期でもあったのでその現場を見てもらう事にしました。茨城三国志と言うだけあって諸葛孔明と張飛に扮した役者さん二人とスタッフ6人がカメラの機材を持ってやって来ました。こちらは私と「守谷みつばち夢プロジェクト」のメンバーが対応しました。

全員がミツバチに接するのは初めてなので大分腰が引けていた様でしたが、そこは役者の端くれ最後は見事に演じ切っていました。



私の持っている巣の白い部分が蜜です



蜜を絞っている



茨城三国志 諸葛孔明と張飛 お疲れ様でした

